

# 一 般 質 問

9月議会では、6名の議員が一般質問を行いました。

## 地方創生に どのように取り組むのか

櫻谷 千重子 議員

地方創生に要望書が集中している中、国も今後の査定でどこまで抑制できるかが焦点だと思っています。

消滅自治体の一つとされている本町。過去にやってきたことを、そのまま未来につなげていくと消滅自治体に成りうる。何かを変え、何かをする一つの手段として、地方創生委員会と地方創生課を設置することを提案します。

地方創生委員会には町内全域、あらゆる分野の方々に参画してもらい、かかわっている人達と町民が主役となるよう努力しなければならぬと考えます。

福井町長

地方創生委員会の設置については、関係者や有識者で組織する牟岐町有識者会議を設置しており、今後、必要に応じ開催し、ご指導

をいただいてまいりたいと考えています。

また、地方創生課の設置については、過疎化が進行し、町職員の増員は困難な状況であり、一人の職員ができるだけ多くの種類の業務を行ってきたところです。課長クラスの職員が不足している現状もあります。

今後、地方創生戦略を策定し、来年度からの実行を検討していく中で、必要とすることであれば設置したいと考えています。

## 役場・消防本部の 防災対策は

櫻谷議員

来る南海・東南海地震に備え、懸念されている役場の耐震強度ですが、財源のないまま放置されている本



若者による地域活性化の討論会

庁舎を、あくまでも現在の場所にこだわるのか、どこか新築場所があるのか、そろそろ決める時期がきているのではないかと思います。

つぎに海部消防本部の移転ですが、移転先は見つかったのか。災害時、また、事故後においても必要不可欠な海部消防本部。現在の場所では、津波被害の恐れがあり、その機能も危ぶまれます。

防災対策上、いずれも急を要し、町民の命と財産を

守るという観点からも、すぐさま解決に取り組む必要があると考えます。

福井町長

牟岐町役場は、これまでの施設の改修などで使用されているコンクリート強度に問題があるとも指摘されており、本庁舎を耐震改修し使用することは困難であり、他の場所へ移転するのが適当であると認識しています。また、高齢化が進む中、町の中心部から離れる